基本撮影　第2章

基本的な撮影

撮影操作の流れと、基本的な撮影方法について説明します。

操作の流れ

基本的な撮影方法は、次のような流れになります。

電源を入れる

↓ カメラの電源スイッチをスライドし、モードダイヤルを［📷］に合わせます。→ P.41

記録先を選択する

↓ 内蔵メモリー（IN）またはスマートメディア（CARD）を選択します。→P.42

画質モードを選択する

↓ 6種類（1800 F・1800 N・1800 E・900 F・900 N・900 E）の画質モードから選択します。→ P.43

記録モードを選択する

↓ 3種類（▭・A・▭）の記録モードから選択します。→ P.44

被写体の大きさを決める

↓ ▼ボタンや▲ボタンを操作して、被写体の大きさを決めます。→ P.45

被写体の位置を確認する

↓ ファインダーまたは液晶モニターを見て被写体の位置を確認します。→ P.47

撮影する

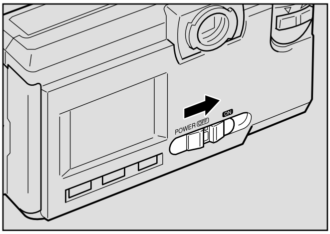
レリーズボタンを押して撮影します。→ P.48

電源を入れる

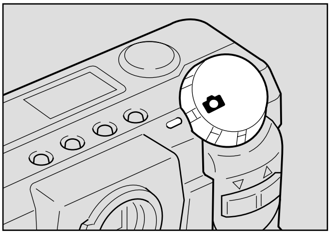
カメラの電源スイッチをスライドさせると電源が入ります。再びスライドさせると、電源が切れます。

❶ 電源スイッチの中央のボタンを押しながら、電源スイッチをスライドします。

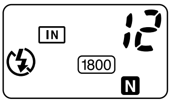
モニターカバーが開き、電源が入ります。



❷ モードダイヤルを［📷］に合わせます。

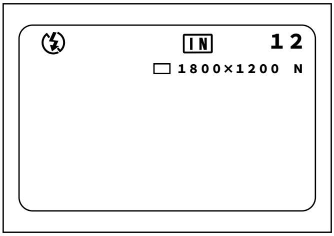


液晶パネルや液晶モニターに記録情報が表示されます。



●液晶モニターの表示について

DISPLAYボタンを押すと、液晶モニターの画面表示の切り替えができます。液晶モニターを利用しない場合、DISPLAYボタンを押して画面表示を消すと、電池の消耗を防ぐことができます。再度DISPLAYボタンを押すと画面表示されます。
電源を入れたときに、画面表示されないよう設定することもできます。→P.112「液晶モニターの画面表示を変更する」



補足 ・電源スイッチを再びスライドすると電源が切れ、レンズバリアやモニターカバーが閉まります。なお、記録以外の再生モードや消去モードの場合、電源スイッチをONにしてもレンズバリアは開閉しません。

コラム

オートパワーオフについて

電源が入った状態で、約５分以上カメラの操作（ボタンやスイッチの操作）をせずに放置しておくと、節電のため「オートパワーオフ」になり電源が切れます。再びお使いになるときは、電源を再投入してください。オートパワーオフの設定を解除することもできます。
→P.105「オートパワーオフの設定を変更する」
＊ACアダプター使用時は、「オートパワーオフ」は機能しません。

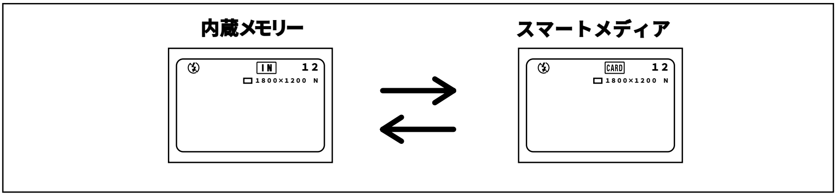
補足 ・モード保持機能が働いているときは、「フラッシュ」「露出補正」「ホワイトバランス」「記録モード」「日付入れ撮影」「言語設定」「カード/内蔵」「Ｓモード」の各設定内容は、電源が切れる直前の設定に保持されます。→P.108「カメラの設定内容を記憶する」

記録先を選択する

撮影したファイルを、カメラ本体の内蔵メモリーに記録するか、セットしたスマートメディアに記録するかを選択します。

■モード表示の移り変わり

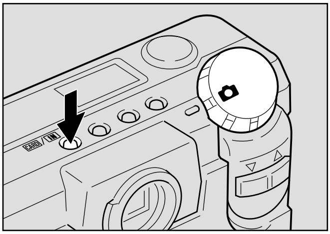
記録先を切り替えると、次のように表示されます。



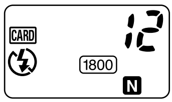
＊スマートメディアがセットされているとCARDが表示されます。

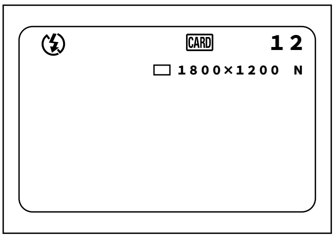
■記録先の選択

❶ CARD/INボタンを押して、記録先（IN・CARD）を選びます。



CARD/INボタンを押すごとに、記録先が切り替わります。CARD/INボタンを押して記録先を選択してください。





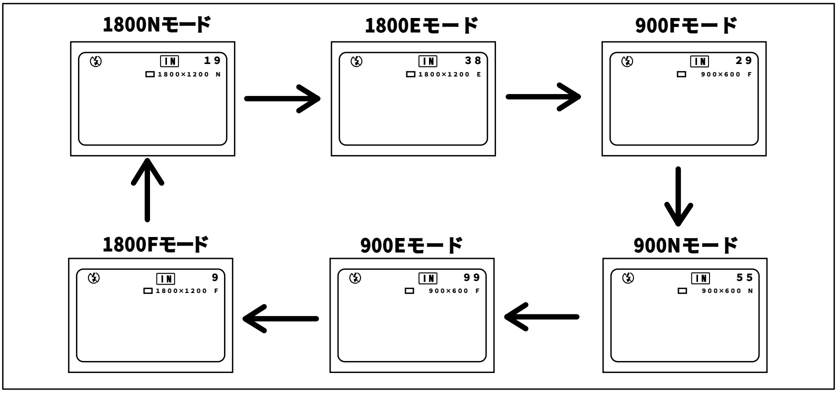
補足 ・電源を入れたとき、スマートメディアがセットされていると、液晶モニターや液晶パネルにCARDマークが表示されます。記録先を内蔵メモリーになるよう設定するときは、モード保持を設定してください。→P.108「カメラの設定内容を記憶する」

画質モードを選択する

このカメラでは、6種類（1800 F・1800 N・1800 E・900 F・900 N・900 E）の画質モードがあります。用途にあわせて切り替えてお使いください。

■モード表示の移り変わり

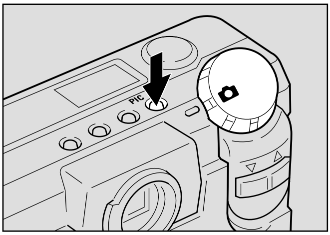
画質モードを切り替えると、モード表示は次のように表示されます。



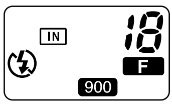
＊画質モードを切り替えると記録枚数が変わります。
＊初期設定は1800 Nになっています。

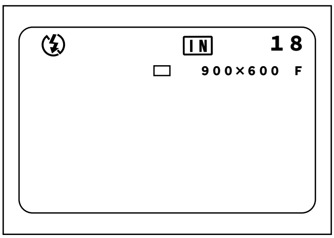
■画質モードの選択

❶ PICボタンを押して、画質モード（1800 F・1800 N・1800 E・900 F・900 N・900 E）を選びます。



PICボタンを押すごとに、画質モードが切り替わります。PICボタンを押してモードを選択してください。





●データの目安

画質モード	データサイズ
1800Fモード	約795KB/画面
1800Nモード	約401KB/画面
1800Eモード	約204KB/画面

画質モード	データサイズ
900Fモード	約270KB/画面
900Nモード	約139KB/画面
900Eモード	約73KB/画面

補足 ・画素数は1792 × 1200 および 896 × 600 です。

・画質モードを切り替えたときの画像の最大記録枚数は、次のとおりです。

画素数	画質モード	記録枚数
1792×1200	Fモード	約 9枚
	Nモード	約 19枚
	Eモード	約 38枚
896×600	Fモード	約 29枚
	Nモード	約 55枚
	Eモード	約 99枚

＊スマートメディアが8MBのとき（記録モードが画像の場合の記録枚数です。）

なお、スマートメディアの容量別、画質モード別の記録可能枚数については、「記録枚数について」P.129をご覧ください。

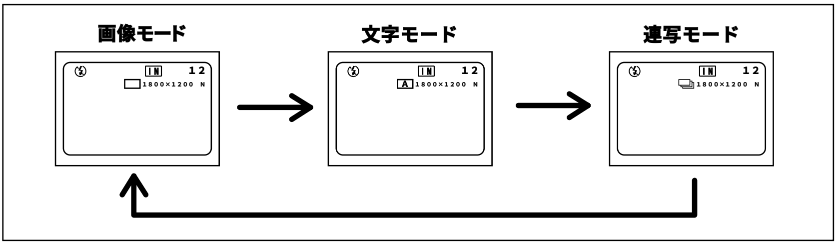
・本書および本製品では、画素数を1800 × 1200、900 × 600 と表記しています。

記録モードを選択する

画像や文字などを記録する3種類の記録モードがあります。用途に合わせて記録モードを切り替えてお使いください。

■モード表示の移り変わり

記録モードを切り替えると、モード表示は次のように表示されます。



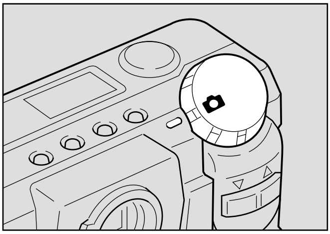
補足 ・記録モードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
→P.108「カメラの設定内容を記憶する」

■記録モードの選択（画像モードの場合）

画像を記録するモードです。

❶モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENU ボタンを押します。

記録メニューが表示されます。



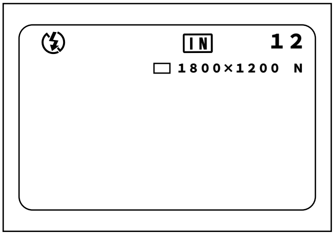
❷▼ボタンや▲ボタンを押して［記録モード］を選びます。



補足 ・操作を取り消すときは、MENU ボタンを押します。

❸ ENTERボタンを押して記録モード（▭）を選びます。

記録モードが設定されます。
MENU ボタンを押して、記録メニューを終了します。



液晶モニターに記録モードが表示されます。

●そのほかの記録モードについて

文字モード→ P.52　　連写モード→ P.53

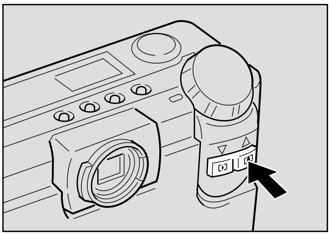
被写体の大きさを決める（ズーム）

ズーム（▼▲）ボタンを押すと、撮る人は被写体までの距離を変えずに被写体の大きさを変えることができます（35mm 換算で 38 ～ 86mm）。

■被写体を大きくする

❶▲（[♠]）ボタンを押します。

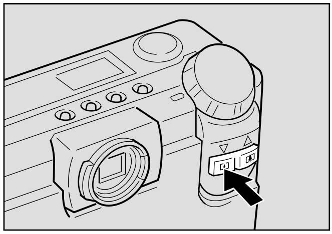
被写体が大きくなり（望遠）、液晶モニターにはズームバーが表示されます。
▲ボタンを押して、被写体の大きさを調節します。



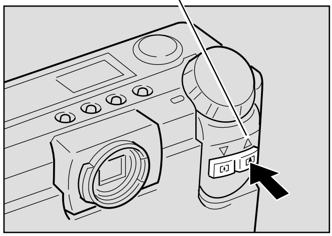
■被写体を小さくする

❶▼（[♠]）ボタンを押します。

被写体が小さくなり（広角）、液晶モニターにはズームバーが表示されます。
▼ボタンを押して、被写体の大きさを調節します。

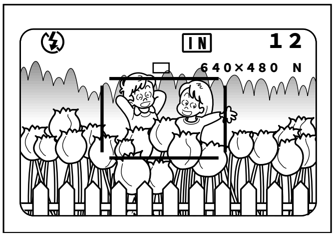


■デジタルズーム機能について



最も望遠側になっているときに、さらに２秒以上▲（[♠]）ボタンを押し続けると、デジタルズームが働き、さらに望遠効果のある撮影ができます。
なお、デジタルズームは、液晶モニターが画面表示されている場合のみ利用できます。画面表示されていないときは、DISPLAYボタンを押して画面表示してください。

記録時は、右のように画面に枠が現れます。この範囲がデジタルズームで撮影されます。再生時は、通常に撮影したファイルと同様に再生されます。
デジタルズームを解除するときは、▼（[♠]）ボタンを押します。



補足 ・デジタルズームで撮影すると、画素数はすべて640×480で記録されます。

被写体の位置を確認する

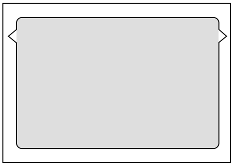
ファインダーや液晶モニターを見ながら被写体の位置を確認します。

■ファインダーの見かた

ファインダーをのぞいて被写体をとらえます。

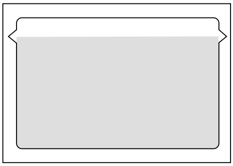
●撮影範囲枠

撮影したいものをファインダーの中におさめてください。



●近距離補正枠

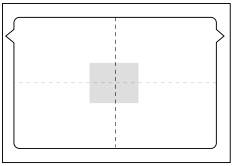
被写体までの距離が約0.4mでレンズが標準の場合、撮影したいものをこの範囲におさめてください。



●オートフォーカス範囲

ピント合わせが行われる範囲です。

ファインダーの中央部にあり、おおよそ図のような範囲です。

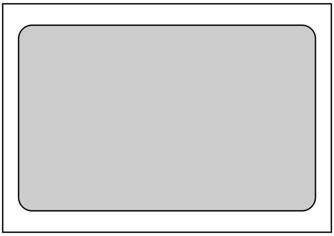


■液晶モニターの見かた

液晶モニターを見ながら被写体をとらえます。

●撮影範囲枠

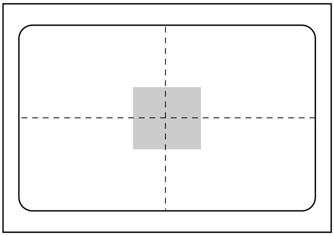
撮影したいものを液晶モニターの中におさめてください。



●オートフォーカス範囲

ピント合わせが行われる範囲です。

液晶モニターの中央部にあり、おおよそ図のような範囲です。



補足 ・説明のためファインダーや液晶モニター内を点線とアミかけで表現しています。実際には、点線やアミかけの表示はありません。

撮影する（画像モード）

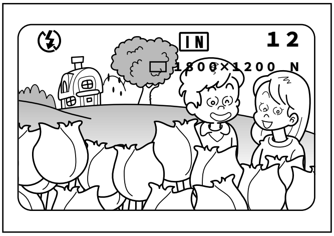
ここでは、基本的な撮影方法を説明します。カメラが動かないように正しく構えてください。

参照 P.36「カメラの構えかた」

❶ 撮影したいものにカメラを向けます。

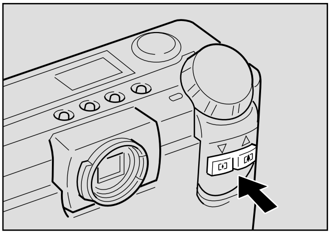
被写体までの距離が約40cmより近い距離の撮影では、広角側（[♠]）にしてマクロ撮影してください。

参照 P.76「マクロ撮影（接写）」



❷ ▼ボタンや▲ボタンを押して、被写体の大きさを決めます。

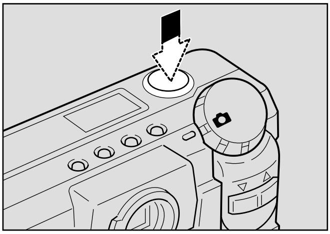
参照 P.45「被写体の大きさを決める（ズーム）」
P.47「被写体の位置を確認する」

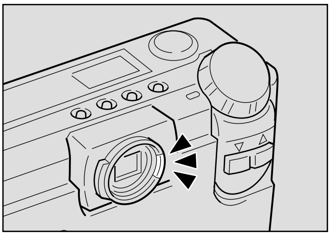


❸ 指の腹でレリーズボタンを軽く押します。

レリーズボタンは2段階になっています。軽く押すと（半押し状態）、オートフォーカスが作動し、ピント合わせが行われます。
オートフォーカス作動中は、手ブレがおきないようしっかりと固定してください。

被写体にピントが合うとオートフォーカスランプ（緑）が点灯します。この時点でピント、露出、およびホワイトバランスが固定されます。

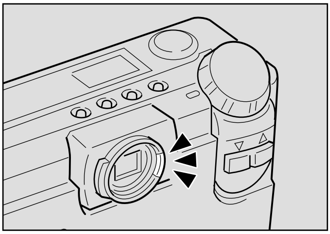




補足
- オートフォーカスランプが点滅したときはピントが合いません。フォーカスロックで撮影することをお勧めします。→P.68「フォーカスロック撮影」
- 「スローシャッター」と表示されたときは、手ブレすることが多いので、フラッシュ発光またはSモード撮影することをお勧めします。→P.55「フラッシュモードの変更」、P.77「Sモード撮影」

●強制発光やスローシンクロ、または自動発光のとき

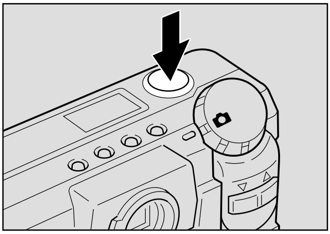
暗いところを撮影するときなど、フラッシュが発光するときは、レリーズボタンを軽く押したときにフラッシュランプ（赤）が点灯します。



補足 ・フラッシュ充電中は、フラッシュランプが点滅し液晶モニターの表示が消えます。このときは撮影できません。

❹ そのまま指を離さずに、レリーズボタンを静かに押しきります。

「ピッ」というブザー音が鳴り、液晶モニターに撮影画像が表示された後、記録されます。液晶パネルや液晶モニターの残り記録枚数の表示がひとつ少なくなります。



補足 ・ブザー音が鳴る前にカメラを動かすと、手ブレすることがあります。
・記録に失敗したときは「ピピピピピッ」というブザー音が鳴ります。記録を中止し、もう一度撮影してください。
・電源のON/OFF、ダイヤルの切り替え、画質モードの切り替えを行うと、残撮影可能枚数が増えることがあります。
・撮影画像の確認が必要ない場合は、▼ボタンや▲ボタンを押すと、すぐに記録を開始します。また、撮影画像を確認する時間を変更することもできます。→ P.111「画像確認時間を確認する」

記録を中止するとき

レリーズボタンを押し切ると、液晶モニターに撮影画像が表示されます。表示されている間は、次の方法で記録を中止できます。
・MENU ボタンを押します。記録取消のメッセージが表示されるので、ENTER ボタンを押します。

コラム

長時間ご使用になる場合

カメラに電源を入れた状態で、約5分以上カメラの操作（ボタンやスイッチの操作）をしないと、「オートパワーオフ」が働き、電源が切れます。撮影するまでに時間がかかる場合は、オートパワーオフが働かないように設定してください。また、長時間使用するときは、予備の電池またはACアダプター（別売り）を用意してください。

→P.105「オートパワーオフの設定を変更する」

■ピントの合いにくい被写体

次のような被写体は、ピントが合わせられないことがあります。

・コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
・横線だけで、凹凸もないもの
・動きの速いもの
・低輝度（暗いところ）のもの
・強い逆光および反射光があるもの
・蛍光灯などのちらつきのあるもの

このような被写体を撮影するときは、写したい被写体と同じ距離にある違う被写体にピントを固定してから撮影してください。

参照 P.68「フォーカスロック撮影」

コラム

画面表示機能について

ENTERボタンを押すと、記録モード、画質モード、記録残枚数など、記録時の情報を表示できます。ボタンを押すたびに、決まった順序で表示が切り替わります。

